

This is a newsletter from Shinshu University Global Education Center (GEC).  
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version  
[http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/about/publications/docs/newsletter\\_vol59.pdf](http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/about/publications/docs/newsletter_vol59.pdf)  
◆◆◆ Vol. 59 2016. 6. ◆◆◆

◆◆◆  
信州大学グローバル教育推進センター ニュースレター  
Shinshu University Global Education Center (GEC) Newsletter  
This is a newsletter from Shinshu University Global Education Center (GEC).  
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version  
[http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/about/publications/docs/newsletter\\_vol59.pdf](http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/about/publications/docs/newsletter_vol59.pdf)  
◆◆◆ Vol. 59 2016. 6. 27 ◆◆◆

◆◆◆  
信州大学グローバル教育推進センター ニュースレター  
Shinshu University Global Education Center (GEC) Newsletter  
◆◆◆

◇ ◆◆◆  
発行：信州大学グローバル教育推進センター (GEC)  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>

[ 今号の目次 ]

- \* ごあいさつ
- \* 最近の出来事
- \* 信大NOW NO. 98/NO. 99
- \* スタッフ近況報告  
グローバル教育推進センター准教授 永田浩一先生
- \* 生活ちょっとコラム

- □  
□ ごあいさつ

みなさんこんにちは！

今年度になり初めてのニュースレターです。3月に卒業・終了した皆さんは、新生活に慣れてきたころでしょうか？  
関東甲信越地方は、例年より3日ほど早く6月5日ごろ梅雨入りしました。松本市の「信濃あじさい寺」とも知られる弘長寺のあじさいは見ごろを迎えているようです。

紫陽花（あじさい）は「一家団欒（だんらん）」「家族の結びつき」なんて素敵な花言葉を持っています。鬱陶しい雨が続くときにこそ、家の中でのんびり家族との団欒のひと時を過ごしてみたいかがでしょうか。

それでは今日も元気にニュースをお伝えしていきます！

- □  
□ 最近の出来事

★ゲノム編集でニワトリを品種改良 –低アレルギー性卵の生産へ道筋–

学術研究院農学系 鏡味裕教授は、国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門細胞分子機能研究グループ付 大石勲 総括主幹、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門 田上貴寛 上級研究員らと共同で、卵白に含まれる強力なアレルギーであるオボムコイドの遺伝子を欠失したニワトリを開発しました。

今回、次世代の品種改良技術としてさまざまな動植物で研究が行われているゲノム編集技術のクリスパー・キャス9（ナイン）法をニワトリに初めて適用して、ニワトリなど家禽（かきん）の新しい品種改良法を開発しました。

詳しくはこちら↓↓↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/news/2016/04/post-179.php>

★平成28年度新入留学生ガイダンスを実施しました

新年度を迎え、2016年4月1日（金）に海外から信州大学に入学した学部生、大学院生、交換留学生、短期プログラム生の70数名を対象にガイダンスを実施しました。

ガイダンスでは、平野理事及び田中グローバル教育推進センター長から信州大学への歓迎のあいさつ、佐藤副センター長からは大学の紹介と日本語教育について、また、総合健康安全センター長からは健康管理と相談についての案内がありました。

留学生はそれぞれが、期待と不安を胸に、本学での新たな留学生生活をスタート

トさせました。

詳しくはこちら↓↓↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/cheer/news/2016/04/28-7.php>

---

★伊勢志摩サミットで、ナノファイバー技術を使った高機能マスクが配布されました

---

5月27日、28日に三重県で開催された伊勢志摩サミットで、ナノファイバー技術を応用した高機能マスク「アエルマスク」が、「三重のおもてなしバッグ」協賛品の1つとして、各国政府代表団や国内外報道関係者へ配布されました。

「アエルマスク」は、信州大学先鋭領域融合研究群 国際ファイバー工学研究所のナノ融合技術研究グループが、世界で初めてナノファイバーの大量生産技術の開発に成功し、この技術を応用し一般消費者がより使いやすいようになった高性能マスクで、2014年の御嶽山が噴火した際、周辺の木曾町や大滝村に寄贈されました。

詳しくはこちら↓↓↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2016/06/post-43.html>

---

★天皇皇后両陛下が信州大学をご視察

---

全国植樹祭の式典にご出席されるため、長野県を訪れた天皇皇后両陛下は6月5日、信州大学長野(工学)キャンパス内の国際科学イノベーションセンター(AICS)をご視察されました。天皇皇后両陛下が信州大学をご訪問されるのは、1949(昭和24)年の開学以来、初めてのこととなります。

両陛下は午後2時半、長野(工学)キャンパスのセンターに到着され、正門近くに詰めかけた学生や職員約170人からの歓迎に、右手を挙げて応えられました。

センターの玄関では、濱田州博学長、中村宗一郎理事、半田志郎副学長(工学部長・センター長)らが両陛下を出迎えご挨拶させていただきました。

詳しくはこちら↓↓↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2016/06/post-46.html>

---

■□

□ 信大NOW No. 98/No. 99のご案内

---

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介します。

<No. 98>

- [特集]体内埋め込み型  
歩行アシストサイボーグプロジェクト
- 信州大学×日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会連携協定  
第4回連携フォーラム  
我がふるさとの御柱(おんばしら)
- アクア・イノベーション拠点  
第3回シンポジウムを開催  
2016年2月5日 信州大学長野(工学)キャンパス
- TOPICS
  - ・2015年度終期「グローバル教育推進センター終了発表会」が開催されました
  - ・平成27年度「市民開放授業 修了証授与式及び学長との座談会」が行われました
  - ・信州大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻(教職大学院)キックオフフォーラムを開催しました。
  - ・信州大学発「インターバル速歩」10年継続の成果説明会と表彰式を開催

etc.

---

<No. 99>

- [特集]信州大学伝統対談 VOL.3  
三代目俵屋玄兵衛 出口友洋さん×濱田学長  
グローバルで発揮される信大の独創力。

- 機械で守る  
信州伝統の味「市田柿」  
工学的視点で確立した機械乾燥法が製法特許を取得

- 信州の未来を担う人材育成講座  
H27年度地域戦略 活動報告  
プロフェッショナル・ゼミ

- 信州大学知の森基金  
平成27年度実績報告

- 信州大学広報スタッフ会議 学外アドバイザー  
FOCUS EYE Vol.① 藤島 淳氏

#### ○TOPICS

- ・平成28年度「信州大学連携コーディネータ研修」を開催しました
- ・第2回防災市民シンポジウム「安心・安全の街をつくる  
～しなやかで美しい郷土のために～」開催報告
- ・信州大学アクア・イノベーション拠点 (COI) が、  
ナノ構造制御カーボン水分離膜を開発

etc.

---

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開  
されていますので、ぜひご覧ください。

↓ ↓ ↓  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

- □
  - スタッフ近況報告 グローバル教育推進センター 准教授 永田浩一先生
- 

はじめまして！グローバル教育推進センターへ5月1日より着任した永田浩一（ながたひろかず）です。こちらに来る前は、九州工業大学のマレーシア拠点（マレーシアプトラ大学内）に勤務していました。そこでは、日本の大学生、高校生等を受け入れ、さまざまな教育プログラムを実施し、学生さんの成長をたくさん見てきました。

なぜ？マレーシアに拠点を作ったかという点、日本とは異なることが多く、それを学生さんに体験してもらい、感じ取ってもらいたかったからです。

マレーシアは多民族国家で、マレー系（イスラム教）、中華系（キリスト教、仏教など）、インド系（ヒンズー教など）などから構成されており、アジアからの出稼ぎ労働者、アフリカからの留学生、ラマダン（断食月）の期間は、世界中のイスラム教徒がマレーシアを訪れているので、街中、大学、どこでもまさにインターナショナルです。大学の授業、ビジネスでの会議、メールも基本的には英語です。しかし、会議でエキサイトしてくると、マレー系の人はマレー語と英語が混合して、日本人だけ取り残されることはしばしばありました。また、国立大学は、学生、先生、職員は女性比率が高く、マレーシアプトラ大学の学長は女性でした。ほとんど（私が聞いた中では100%）の夫婦はお互いの収入、預貯金額を正確には教えず、別々の財布で、住宅や車のローン、子供の養育費、食費等、どちらが何を支払うかは、それぞれの夫婦のルールがありました。もちろん、我が家は家内がお金を管理していますが。

毎日が発見の連続で、研究等の期間も入れると、4年半以上マレーシアに滞在しましたが、飽きることは一切ありませんでした。子供4人、家内もマレーシアで生活していたので、いろいろなことを経験できました。マレーシアの教育事情、食文化、駐在員とは・・・等、マレーシアに興味がある人はお声かけください。

- □
  - 生活ちょっとコラム ～苔（こけ）moss～
- 

先日、最近日本の女性の間で苔の観賞がじわじわと流行ってきているというニュースを見ました。苔が好きな女性のことをコケガールなんて呼ぶそうです。

私は苔なんてしっかり見たことがないし、「苔が生えてると滑りやすいから嫌だな」としか考えたことありませんでした。

ニュースでは、苔を観賞しながら散歩するツアーを企画しているホテルがあり、そのツアーが大人気だと言っていました。そのホテルには、ついに苔をモチーフにしたお部屋を作り、インテリアやアメニティもモスグリーンで

